

楽しむ・学べる・つながる 私達の勉強会 （春日部市若手職員勉強会「はるらぼ」の活動紹介）



春日部市総合政策部政策課 大河原 弘樹

1 はじめに～「はるらぼ」の紹介～

今回は、この場をお借りして私たちの自主勉強会「はるらぼ」をご紹介します。まず、会の名称の由来ですが、春日部市の「はる（春）」とLaboratory（研究室）の「らぼ」を合わせて「はるらぼ」となっています。この名称は勉強会の前に参加者から名称の候補を挙げてもらい、その後の勉強会の参加者による投票によって決定しました。「春日部市の職員として誇りを持ちながら、春日部の未来を考えていきたい。」そんな気持ちがこの名前には込められています。

そして、私達の勉強会の特徴は、入庁1年目の職員が立ち上げ、運営してきた事にあると思います。平成22年4月に入庁してすぐの5月頃に、同期の一人が自主勉強会の立ち上げを企画してくれました。その時から私も参加者の一人として協力をさせて頂き、今に至りますが、1年目の職員が立ち上げ、前例のないことに取り組んだことに、とても価値があると考えています。

あと、もう一つの特徴として、基本的に「はるらぼ」にはリーダーという立場の者は設定されていないことが挙げられます。一応現在は私が代表者として名前を載せていますが、これは便宜上であり、連絡先や対外的に示す時のものになります。なので、基本的にはメンバーみんなで運営していくというスタンスで活動を続けております。

リーダーを置かない理由としては、①一人に負担を集中させたくない。②メンバーに上下関係はなく、平等な仲間という立場で運営に関わって欲しい。③

運営に関わることで自分が経験値となる。④リーダーが居なくなったら解散してしまうような会にしたい。と言った事が挙げられます。他自治体の自主勉強会の例を見ると、どうしてもリーダー的な立場の方が居て、その方が仕事や家庭の都合で勉強会に参加できなくなってしまうと自然消滅に近い形になってしまう事があるようなので、そうならないためにも、参加者が誰かに依存するのではなく、みんなで創って行く姿勢を大切にしたいと思います。そして、勉強会の時間だけでなく、その運営に関わることも大切な経験となるのです。

ただそれを無理強いしてしまうと、参加者の負担が大きくなり、気軽に参加ができなくなってしまいます。そうすると、参加者が集まりにくくなってしまいますので、その折り合いが難しいと感じています。

この「はるらぼ」も、平成22年度に既に立ち上げてから3年以上が経過しておりますが、これもひとえに春日部市職員の皆様方のご理解とご支援があったからだと思います。当初、メンバーは私達の同期（現入庁4年目）だけで構成しており、一時期活動が停止してしまったこともありましたが、現在は先輩や後輩にも参加して頂いているため、以前より活発に活動しております。



「活動（意見交換）の様子」

2 活動内容について

1～3年目の活動内容は、自己の職務内容をお互いに発表し合うというものでした。流れは、会の参加者の中から次回の発表者を選出し、次回の開催日を決め、発表をしてもらうものでした。発表時間は20分～30分程度で、その後は参加者からの質疑や意見交換の場にしていました。

入庁後まもない私達は、まだ市役所内にどのような課があって、どのような業務を行っているかわからなかったのもので、この活動はとても勉強になりました。また、同期やメンバーがどこの課に居てどのような業務を行っているかを知ることで、他課との連携や分からないことを聞く場合にスムーズに連絡が取れる礎を築くことができました。

発表後の質疑や意見交換も毎回大変活発で、普段上司や先輩に聞きづらい事や、担当職員ならではの悩み事や経験を相談できる場所にもなりました。



「発表をするメンバー」

そして今年度は活動も4年目に入り、そろそろ新しい事もやってみようということで、新たな活動を始めています。特徴的な取り組みとして、エクセルの勉強会や、市内の農産物のみを使った料理教室などが挙げられます。

1つ目のエクセル講座は、エクセルの使い方の基礎を確認するという目的で、「はるらぼ」のメンバー

が講師となって開催をしました。講師が基礎的な技術を使って課題を作成し、それをみんなでやることで、できる技術を持っているかどうか確認する流れで行いました。また終盤では、「エクセルでこんな事もできるんだ！」と、気づいて業務の参考にできるような、少し応用的な技術の紹介も行いました。

この講座はとても好評で、参加者からは「こんな簡単な方法は知らなかった。」や、「基礎の確認が楽しくできて良かった。」などの感想を頂きました。また、講師となったメンバーからも「問題を作ること自分自身も勉強になった。」と感想を頂きました。

今年度末にワードの使い方講座も予定していますが、是非またこのエクセル講座も2回目や3回目をやっていきたいと思っています。



「エクセル講座で課題に挑戦するメンバー」

2つ目の市内の農産物のみを使った料理教室は、私が前に農政課に居たことから提案させて頂いたものです。若手の職員ではなかなか市内農産物を知らないのもので、「春日部の農産物だけでこれだけの料理が作れるんだよ！」というのを知って貰いたかったのが、一番の狙いです。また、自ら春日部の良さを体験してもらうことで、対外的なアピールもできるようになると思いますし、春日部市で働くことへの自信にも繋がると考えたからです。

今までの活動は、会議室で机を囲んだ勉強会らし

い形で活動を行っていましたが、この会はお楽しみ会的な要素が強く、参加者もとても気軽に楽しめたと思います。

参加者からも、「楽しく・美味しく食べられた！」や、「思ったより豪華でヘルシーな料理になってすごい」などの感想を頂きました。

このような「楽しむこと」がメインの会も今後はさらに積極的に取り組みたいと思っています。



「作った料理（調味料以外全て市内産のもので作りました。）」



「みんなで頂きます！」

3 課題や工夫していることについて

他自治体の自主勉強会も同じ様な課題を抱えているとは思いますが、まずは参加者の確保が一番の課題だと思っています。もちろん、「自主勉強会」なので、参加する義務は一切無いのですが、参加者が楽しめる会にするためにも、ある程度の人数は必要

だと思います。それは、この活動の目的の一つに職員同士の交流が含まれているからです。いつも同じメンバーでやると、内容や交流は深くなるかも知れませんが、「はるらぼ」の参加者の多くは、「交流」に重きを置いて参加している人が多く、同期だけでなく、年齢や経験年数の枠を超えて先輩や後輩と交流できる事が大切だと思います。

そこで工夫としては、毎年年度の始めに新規採用職員研修がありますが、その中でお時間を頂いたり、昼休みにお邪魔したりして、PR活動をしています。そしてその時には、前年度入庁した職員が主体となってPRしていることが工夫している点です。

丁度1年前に入庁した先輩達がPRすることで、新規採用職員の皆さんにも親近感が沸きますし、PRする方も1年前に自分が経験した緊張感や、不安・期待を基に話ができるのが、とても良いと思います。

また、人事課にもとてもご協力を頂いており、職員向けに毎月1回発行している「職員だより」へメンバー募集の記事を掲載させて頂いたり、活動内容の報告をさせて頂いたりしています。その甲斐あったか、毎年新しい後輩が増え、10人前後での活動を継続的にできるようになりました。

あともう1つ、いかにメンバーが参加したいと思える活動を用意するかが課題であると感じています。

前述の参加者の確保にも繋がりますが、参加する時間や意欲があっても、興味の持てない活動であれば参加を見送ってしまうこともありますし、逆にとても興味がある活動であれば、多少用事があってもその時間だけは確保して参加してくれることもあると思うからです。

そこで、工夫として、年に何度か今後どの様な活動を開催して欲しいか参加者から募ることにしています。と言ってもなかなかすぐには意見もでないので、こちらからある程度案を出し、それを基に参加者みんなで意見を出し合って、それらを組み合わせたりその案を発展させた形の活動にしたりしています。そうすることでやらされ感を少しでも無くし、

自らも運営側に自然に回れるようになると思います。

また、連続したテーマにしてしまうと、前回参加できなかった人が参加しにくくなってしまいますので、なるべく1回で完結するテーマにしようとしています。参加したいと思えるテーマの時だけ気楽に参加することができる雰囲気作りを目指しています。



「グループワークの様子」

4 活動の成果と今後の展望について

活動3年目あたりから、他の自主勉強会との交流も活発化してきており、埼玉県内のグループを中心に10団体以上と交流を図ってきました。

きっかけは、彩の国さいたま人づくり広域連合主催の「自主研究グループの交流会」であったり、公職研さんの発行している「月刊『地方自治職員研修』」に掲載させて頂いたことをきっかけに、お問い合わせを頂いたりしたことでした。そして、そこで築いたつながりからまた新たにつながっていき、どんどん活動の幅が広がっていきました。

さらに今年度は、そのつながりを活かした県外研修会も企画しています。今まで業務終了後の活動が主で、たまに他の勉強会との合同イベントで土日の日中に開催することもありましたが、ほぼ半日以内で終わるものばかりでした。しかしこの県外研修会は、初の1泊2日で計画しています。色々と課題も多いと考えられますが、職員同士の交流を図るためや、メンバーの意識や意欲・経験の向上のためにも

是非成功させたいと思っています。

「はるらぼ」は、政策提案や政策研究をして、直接的に市政に貢献をするような団体ではありませんが、その前段という位置づけで、今後10年20年先にメンバー1人1人が本市で中心となって活躍できるよう、力をつける事ができる場にしたいと考えています。そして、意識と意欲を高くし、庁内だけでなく、他自治体や関係者との円滑な連携が取れるよう、メンバー全員が成長していけたらと思います。そのためにもこれからも人と人のつながりを大切にし、楽しく活動することで、「気がついたらスキルや経験も上がっていた。」そんな場を提供できる会でありたいと思っています。

私たちの仕事は対市民の仕事が主ではありますが、その仕事の質を上げるためには、職員同士のつながりが大変重要になってくると思います。また、今後行政活動が効率化していく上で、広域的に他自治体の職員と連携が取れる職員は、とても大切になってくると思っています。

私達が会を立ち上げた頃は、入庁したばかりで右も左もわかりませんでしたし、全く職員同士のつながりがありませんでした。お互いの情報共有の場や、支えあう場を求めて立ち上げたこの会の出発点を大切にしながら、これからも活動をしていきたいと思っています。これからも新規入庁職員や若手のまだ庁内につながりが少ない職員にとって、絶好の場であり続けたいと思っていますので、今後ともご支援よろしくお願いいたします。



「はるらぼのメンバー」